

令和4年9月
第6回清水町議会定例会一般質問事項

| 質 問 者 | 質 問 事 項 | |
|---------|---------|--|
| 議 席 氏 名 | | |
| 4 | 中河つる子 | <p>1 ごみの減量化、資源化への取り組みを</p> <p>平成31年4月1日よりごみ処理は、十勝圏複合事務組合に加入し、帯広市にある「くりりんセンター」にて共同処理するようになった。広域になったために積極的にごみを減らそうという考えが弱まっているように感じる。</p> <p>我が町のごみは町民の問題として捉え、どのようにしたらごみの減量ができ、地域の暮らしやすい環境づくりに役立つかを考えてみたい。</p> <p>昨年10月1日に本町のゼロカーボン宣言がされた。</p> <p>昨年の議会答弁の中で生ごみのコンポスト化、資源リサイクルの推進を進めるとある。</p> <p>(1) 平成31年4月以降のごみの量の推移はどのようになっているか。</p> <p>(2) 燃やせるごみの減量化が二酸化炭素削減に寄与するが、その中で生ごみを減らすことは大きな比重をしめる。そこで本町としても生ごみの減量化に対してどのような取り組みを進めているか。</p> <p>(3) 生ごみ処理器コンポストの購入助成を衛生組合で行っているが、どのくらいの数が普及されたか。また、コンポストで生ごみを堆肥にするには技術が必要だ。コンポストの使い方成功している個人、団体の実践例を聞き、町民に効果を広める取り組みをしてはどうか。</p> <p>(4) 家庭で出る草木の処理で、以前はひもで結んで出していたが、今は燃やせるごみの袋に入れて出さないといけない。これも二酸化炭素削減から堆肥化できないか。</p> |

| 質 問 者 | | 質 問 事 項 |
|-------|-------|---|
| 議 席 | 氏 名 | |
| 6 | 佐藤 幸一 | <p>1 物価高騰で苦しむ町民生活の支援について</p> <p>ロシアのウクライナの侵攻や円安等の影響で生活必需品の値上がりが町民生活を直撃している。電気代に至っては17カ月連続で値上げが続き、これらの影響により町民は日々の生活に苦しんでいる。</p> <p>国の地方創生臨時交付金の活用で家計と地域経済をともに支える必要があると思うが町長の考えを伺う。</p> <p>(1) 上下水道料金の一律免除（簡水・集落排水含む） (2) 地域活性化商品券のプレミアム率の大幅な引き上げ (3) ごみ収集袋の無償配布 (4) 公衆浴場入浴料の据え置き</p> <p>2 しみず温泉フロイデ看板の町有地不法占拠問題について</p> <p>私は、フロイデ看板の町有地不法占拠問題を何度も取り上げ解決を求めてきた。執行側は元年度決算審査の中で「法的に進めていきたい」と答弁しているが、あれから2年間、訴訟の議案も提出されていないし行政報告もない。</p> <p>国道274号の看板は風により飛ばされ、枠だけとなっている。他の看板も非常に危険な状態になっている。</p> <p>早急に解決を図る必要があるが、今後の対応について伺う。</p> |

| 質 問 者 | 議 席 氏 名 | 質 問 事 項 |
|-------|---------|---|
| 3 | 山 下 清 美 | <p>1 飼料高騰対策について</p> <p>今年に入り、配合飼料等の高騰が続いており、町内の酪農・畜産業への経営負担が増大していると思われる。</p> <p>町として、町内酪農畜産関係者の前年度比較などの状況を現在どのように把握しているか。</p> <p>その現状によっては町としても何らかの取り組みが必要と思われるが、町長の考えを伺う。</p> <p>2 農作業人材不足の現状と農福連携の可能性について</p> <p>農家戸数が減少し、各農家の規模が拡大、大型機械化が進む中でも、手作業が必要な部分もあり人手を探すのに苦労しているという話を聞くことがある。</p> <p>反面、少しでも働きたいと思っている障がい者の方もいると思う。</p> <p>今までは福祉の取り組みとして就労先を探ってきたが、農業関係からのアプローチで農福連携を模索してはどうか、町長の考えを伺う。</p> |

| 質 問 者 | 議 席 氏 名 | 質 問 事 項 |
|-------|---------|--|
| 12 | 高橋政悦 | <p>1 第6期総合計画にある強みを活かしたまちづくりについて</p> <p>平成 23 年度から令和 2 年度までの第 5 期総合計画を踏襲し新たに令和 3 年度から 10 年計画で策定された戦略的 第 6 期総合計画では、多くある強みを活かして課題を克服するまちづくり、総合計画の実行性を高める施策、施策を具現化するための必要な事業を行うなどとされているが、実際にどのような施策がどのように進んでいるのか、町民とともに清水町の将来ビジョンを共有するという基本構想は実現できているのか、現在進んでいるさまざまな施策、方向性、期待値、また、今年度これから実施するものについて伺う。</p> <p>加えて、清水の再開発につながるような民間の事業展開について行政も後方支援策、タイアップ事業などタイミングを失することなく動いていく必要があると考えるが町長の考えを伺う。</p> <p>2 本町のマイナンバーカード取得率と改正個人情報保護法について</p> <p>2022 年 7 月末現在、全国でマイナンバーカードの普及率は 45.9%となっているが、本町の取得率は伸びていないと聞いている。</p> <p>個人情報漏洩リスク、セキュリティ体制の不安、銀行口座紐づけへの不安から取得を躊躇している方、現在特になくとも困らないからという理由で取得していない方などが多くいるのが現状である。</p> <p>今後取得しなければリスクを負う状況が考えられる中、行政として積極的に普及拡大をすべきと考えるが町長の考えを伺う。</p> <p>また、マイナンバーカード 1 枚でさまざまな機能を保持させる方向性で環境整備が行われている中、当然個人情報に触れることのできる人が幅広くなっていくと思われるが改正個人情報保護法との関連について伺う。</p> |